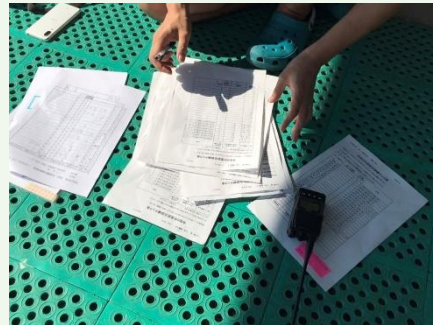


9月3日(日) 地区一斉避難訓練

直近の防災の日に因んで、地震発生直後の各家庭の安否確認のための避難訓練を実施しました。当日早朝の消防団による案内の後、午前8時、各家庭の無事を示す白い布の世帯数を班長さんが確認して、一時避難場所で報告頂きました。安否の集計結果は防災無線で地区委員から地区長に報告し、スピーディーな集計ができました。地震はいつ起るか分かりません。今一度、皆さんも災害時の為に、一時避難場所の確認をお願いします。



9月17日(日) 小垣江地区敬老会

9月17日に小垣江敬老会が行われました。今年は1,132人中、900人程の方がお越しくださいました。昨年は、市民館で行われた敬老会ですが、今年は小垣江小体育館でクーラーが効いている中、式典、余興が行われました。余興は、金管バンド部演奏、お囃子部会演奏、小垣江ラジオ体操の会によるサザエさん体操、プロのマジシャンによる華麗なマジックなど豪華な余興となり反響も大きかったです。今年はコロナの爪痕を感じさせない程の敬老会となったと思います。今年ご参加して下さった方もそうでない方も来年は是非足を運んでいただきたいです。



好評だったドライブスルー方式



9月9日(土) 市民館・JA 跡地草刈り

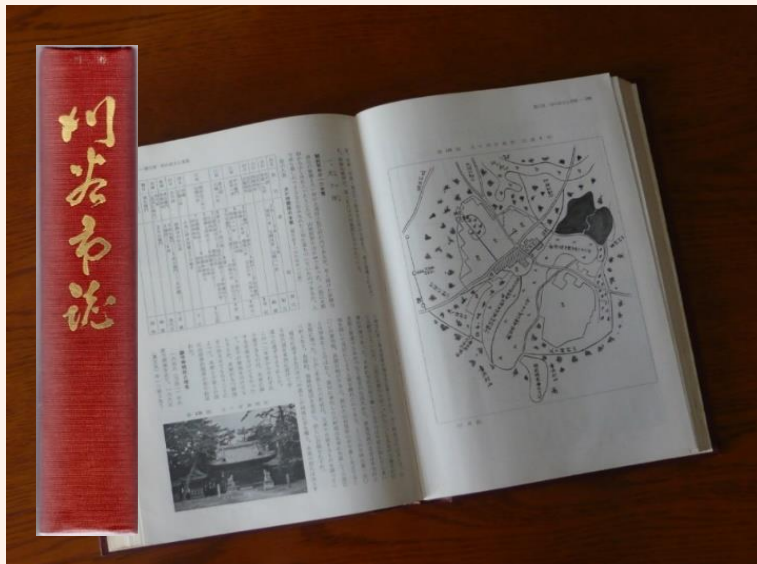
9月9日に市民館と JA 跡地の草取りを実施しました。例年は敬老会準備の為に行われていましたが今年は市民館と JA 跡地の管理の為の実施となります。女性部は市民館側、地区委員は JA 側の担当で行われ、昨年から導入された草刈機と自走式草刈機の活躍もあり、3時間ほどで作業を終えることができました。残暑と言うには首をかしげる程の暑さではありましたが、みなさん本当におつかれさまでした。



読んでおくれん 「小垣江の歴史・文化・史跡探訪」

シリーズ 99 「犬ヶ坪村のまとめ」 その1

記 石川四十美



昭和35年発行の「刈谷市誌」に犬ヶ坪の記載がある。これは当時犬ヶ坪の古老柘植氏が記述したもので、市内の他の村々が1～2ページほどだったのに対して犬ヶ坪は8ページにも及び図、表、写真もふんだんに使われている。これまでに犬ヶ坪について書かれた資料はなく、氏のこの記述が犬ヶ坪の歴史の全てを語っていると言えよう。そのためか氏の主観や脚色かと思われる点が見え隠れする。その① 「最初に移住した6軒組は見事に失敗して小垣江本郷に帰った。」これって歩いて30分の所で

移住しますか？先ず通いで開拓し平地にし、田畑にし、そして掘立て小屋でも建ててそれから移住でしょう。その7年後の寛文5年(1665)今度は12軒で成功し神社を作ったとある。これは6軒(メンバーは替わったかも)で引き続き開拓をし徐々に12軒となり神社を……。との見方が現実的ではなからうか。その② この12軒であるが元禄8年(1695)(寛文5年の30年後)の古文書で13人と明記してある。氏もこの一文を刈谷市誌に掲載して置きながら12軒としている。ご先祖様からの言い伝えかもしれないが、13人と文字で残っている以上13軒として、「12軒は判明できたが1軒は判明できず。」にした方がスッキリする。

10月中旬
～11月中旬
の予定

- ・ 10月21日(土) 半ノ木橋花壇植栽耕運・・・・・・・・・・地区
- ・ 10月22日(日) 神明神社例大祭および余興・・・・・・・・・・氏子総代
- ・ 10月20日・11月10日 交通事故ゼロの日・・・・・・・・・・班長・見守り隊・パト隊・地区
- ・ 10月28・29日 文化祭・・・・・・・・・・公民館・地区
- ・ 11月5日(日) 半ノ木橋花壇植栽・・・・・・・・・・子ども会・女性部・地区
- ・ 11月6日(月) 戦没者追弔会・・・・・・・・・・地区
- ・ 11月14日(火) グラウンドゴルフ大会・・・・・・・・グラウンドゴルフ三団体・公民館
- ・ 11月19日(日) 地区総合防災フェスティバル・・・・・・・・自主防災会